

平成 20 年 6 月 6 日発表

気になる異性の身だしなみ

～男性は「メイクの濃さ（54.0%）」、
女性は「口臭や体臭（59.7%）」が最も多い～

- ビジネスマナー教育受講の有無
～ビジネスマナー教育を受けたことがない人は 69.4%～
- 敬語や言葉づかいの自己評価
～敬語や言葉づかいに自信がない人は 81.6%～
- 敬語や言葉づかいが難しいと思う場面
～「電話対応」が最も多く 66.1%～
- 重要なビジネスマナー
～上位 3 項目は「言葉づかい」、「あいさつ」、「身だしなみ」～
- 苦手なビジネスマナー
～上位 3 項目は「言葉づかい」、「電話対応」、「クレーム対応」～
- 気になる他人のビジネスマナー
～上位 3 項目は「言葉づかい」、「あいさつ」、「身だしなみ」～
- 身だしなみへの意識
～年代が上がるほど身だしなみを意識している結果に～
- 意識して気をつけている自分の身だしなみ
～「服のシワや汚れ（61.9%）」、「服の色柄やバランス（46.5%）」と服装が上位に～
- 身だしなみの自己評価
～全体の平均値は 61.6 点、年代が上がるにつれ自己評価も高くなる～
- マナー違反だと思う身だしなみ
～「香水やオーデコロンのきつい匂い」が最も多く 62.9%～

（弊社ビジネスマナースクール受講者を対象にアンケート調査）

調査の概要

- 新聞折込求人広告の最大手（株）アイデムがビジネスマナーに関する意識を把握するために弊社ビジネスマナースクール受講者に対して調査を実施した。
- 調査方法
 - 1 弊社ビジネスマナースクール講義開始前にアンケートを配布し回答を集めた。
 - 2 対象は業種、職種、雇用形態を問わず、弊社ビジネスマナースクールに参加した受講者。
 - 3 調査は平成19年11月12日～平成20年4月28日に実施した。
 - 4 有効回答者数は2,223名で、年齢階級、雇用形態による内訳は以下の表のとおりである。

回答者内訳

年齢階級	男性	女性	合計	雇用形態	男性	女性	合計
10代	36	101	137	正社員(正職員)	744	848	1,592
20代	559	706	1,265	パート・アルバイト	72	314	386
30代	255	275	530	派遣社員	10	37	47
40代	44	155	199	契約・準社員	65	71	136
50代以上	25	67	92	その他	28	34	62
合計	919	1,304	2,223	合計	919	1,304	2,223

※アイデムビジネスマナースクールは、弊社発行の媒体や合同企業説明会アイデム職選広場で採用が決まった方々を対象とした、職種、雇用形態等を問わない基本となる内容のマナー研修です。平成19年度は東西31エリア34会場で計708回実施し、8,577名の方々にご参加いただきました。

お問い合わせ先： 株式会社 アイデム 人と仕事研究所 担当：小杉 雅和
電話 03-5269-6020 F A X 03-5269-6046 <http://apj.aidem.co.jp/>

株式会社 アイデム

本 社 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-10
代 表 代表取締役 花山 亮
設 立 昭和46年2月
年 商 645億8,400万円（平成19年8月決算実績）
従業員数 約2,000名
事業内容

- 1 新聞折込求人紙『しごと情報アイデム』の企画・発行
総発行部数：週 5,000万部
配布エリア：北海道4、東北3、関東189、東海36、近畿116、山陽15、九州15
計378エリア
- 2 設置型フリーペーパー 「しごと」情報誌『ジョブアイデム』の企画・発行
- 3 新卒・転職者に向けた合同企業説明会『アイデム職選広場』の開催
- 4 インターネット求人情報サイト『e-aidem』の運営
- 5 教育セミナーの運営、オリジナル賃金等の調査、『パートタイマー白書』、情報誌『人とマネジメントWeb情報誌「現場イズム」』、『Re.Term』の発行等の各種情報サービスの提供

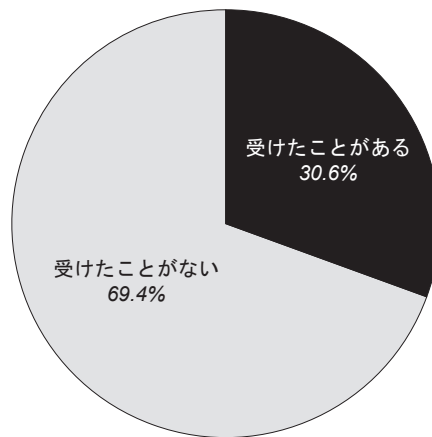
1 ビジネスマナー教育受講の有無

～ビジネスマナー教育を受けたことがない人は69.4%～

問 あなたはいままでにビジネスマナーの研修やセミナーを受けたことがありますか。

いままでにビジネスマナーに関する教育を受けたことがあるかと聞いたところ、69.4%と約7割の人が「受けたことがない」と回答しています。今回の調査が4回目で、毎回この質問をしています。概ね7割前後の人が「受けたことがない」という結果になっています。ビジネスマナーは仕事をする上で必要不可欠なものです。多くの人が基本的なビジネスマナーの知識がないままに、仕事に就いてしまっているのが現状のようです。

図1 ビジネスマナー教育受講の有無



2 敬語や言葉づかいの自己評価

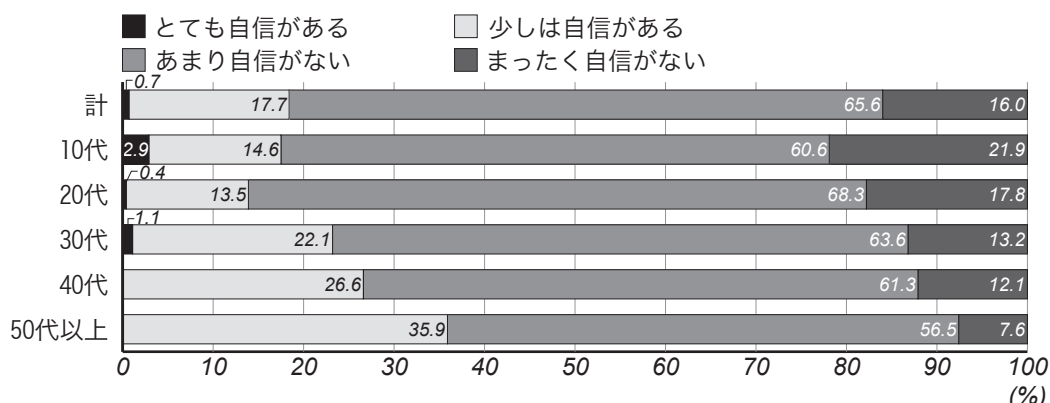
～敬語や言葉づかいに自信がない人は81.6%～

問 あなたは自分の敬語や言葉づかいに自信がありますか。

敬語や言葉づかいに自信があるかを聞いたところ、「とても自信がある」0.7%、「少しは自信がある」17.7%、「あまり自信がない」65.6%、「まったく自信がない」16.0%という結果になりました。「あまり自信がない」、「まったく自信がない」を合わせると81.6%と8割以上の人は「自信がない」と回答しており、社会人の多くが敬語や言葉づかいに不安を感じていることがわかります。

「自信がない」と回答した人（「あまり自信がない」と「まったく自信がない」の計）を年代別にみると、10代では82.5%、20代では86.1%、30代では76.8%、40代では73.4%、50代以上では64.1%という結果です。10代を除けば、年代が上がるにつれて、「自信がない人」の割合は減っていきませんが、働き盛りの30代～40代でも7割以上の人が不安を感じている結果となっています。

図2 敬語や言葉づかいの自己評価



3 敬語や言葉づかいが難しいと思う場面

～「電話応対」が最も多く66.1%～

問 あなたが敬語や言葉づかいで難しいと思うのは次のうちのどの場面ですか。(3つまで選択)

敬語や言葉づかいが難しいと思う場面を3つまで挙げてもらったところ、「電話応対」が最も多く66.1%、次いで「接客応対」53.4%、「ビジネス文書」40.2%、「客先訪問」35.5%、「来客受付」29.9%の順となりました。

これを年代別にみると、どの年代でも「電話応対」を最も多くの方が挙げており、20代(68.7%)、10代(67.9%)では、他の年代と比べて若干割合が高くなっています。電話応対は相手の表情や態度がわからないため相手の心情を察しづらく、また、とっさに正しい敬語や言葉づかいが出てこないことや、表情や態度で自分の気持ちを表現することができないため、多くの方が難しさを感じているようです。

また、性別でみると、男性、女性とも「電話応対」は最も割合が高くなっていますが、男性(58.7%)に比べて女性(71.3%)の方が12.6ポイントも高くなっているのが特徴的です。「来客受付」では男性(25.1%)に比べて女性(33.3%)の方が8.2ポイント高くなっており、一方、「客先訪問」では女性(29.9%)に比べて男性(43.4%)の方が13.5ポイント高くなっています。一般的に男性は営業職など社外での仕事、女性は事務職など社内での仕事が多く、それぞれの業務内容に関連するシーンでより難しさを感じているようです。

図3 敬語や言葉づかいが難しいと思う場面(3つまで選択)

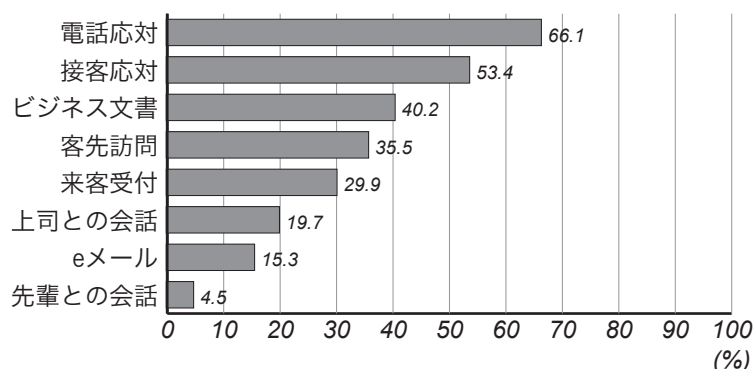


表3 敬語や言葉づかいが難しいと思う場面(3つまで選択)

		電話 対応	接客 対応	ビジ ネス 文書	客先 訪問	来客 受付	上司 との 会話	eメ ール	先輩 との 会話
計		66.1	53.4	40.2	35.5	29.9	19.7	15.3	4.5
性別	男性	58.7	53.5	38.7	43.4	25.1	20.9	15.1	3.9
	女性	71.3	53.4	41.2	29.9	33.3	18.9	15.4	4.8
年代	10代	67.9	55.5	31.4	32.8	38.0	25.5	10.9	12.4
	20代	68.7	52.2	39.6	36.4	31.0	22.2	15.8	4.6
	30代	62.3	53.0	43.6	37.7	24.7	15.8	17.2	3.2
	40代	58.8	57.8	46.2	29.6	30.2	11.6	12.1	2.5
	50代以上	65.2	60.9	28.3	27.2	32.6	16.3	10.9	2.2

(%)

4 重要なビジネスマナー

～上位3項目は「言葉づかい」、「あいさつ」、「身だしなみ」～

問 ビジネスマナーの中であなたが重要だと思う項目は次のうちどれになりますか (5つまで選択)

ビジネスマナーの項目から重要だと思う項目を5つまで挙げてもらったところ、「言葉づかい」が最も多く85.6%、次いで「あいさつ」81.6%、「身だしなみ」72.7%の順となり、他の項目を大きく引き離してこれらが上位3項目となりました。

これを年代別にみると、どの年代でも「言葉づかい」を最も多くの方が挙げていますが、年代による割合の差はほとんど見られませんでした。年代により割合に顕著な差が出た項目は「電話対応」、「表情」、「報告・連絡・相談」で、「電話対応」は年代が高くなるほど割合が高くなり、「表情」は年代が低くなるほど割合が高くなっています。「報告・連絡・相談」は10代だけ他の年代と比べて10ポイント以上割合が低いのが特徴的です。

「電話対応」について性別でみると、女性が39.2%に対して男性は25.5%と13.7ポイントの差があり、男性と女性の意識の違いが目立ちます。男性と比べ女性は事務職の比率が高く電話を受ける頻度が高くなるため、「電話対応」に対する意識が高いことが窺えます。

図4 重要なビジネスマナー（5つまで選択）

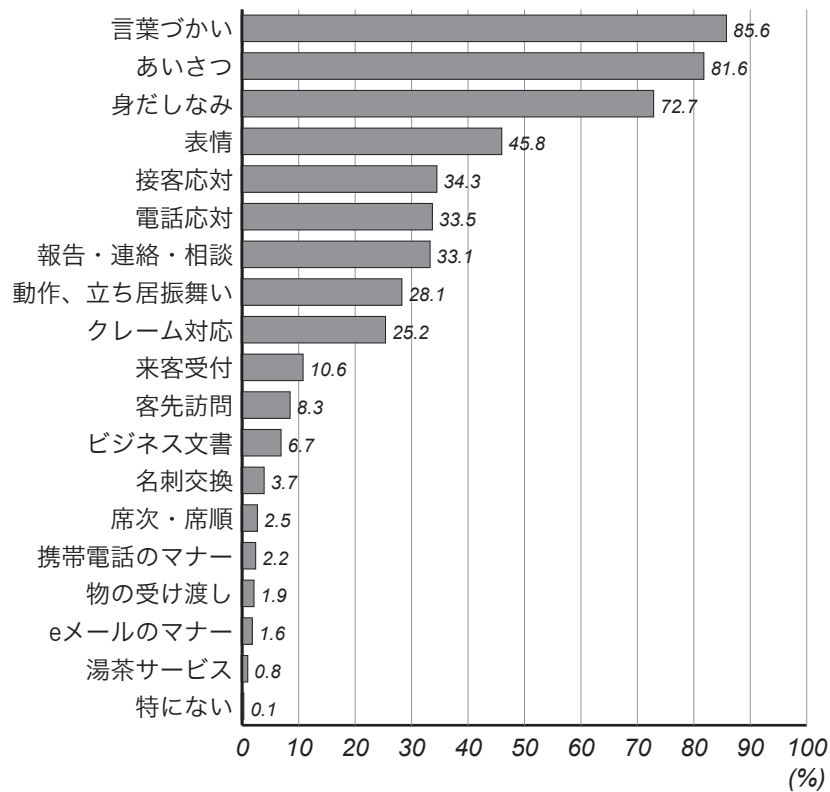


表4 重要なビジネスマナー（5つまで選択）

		言葉づかい	あいさつ	身だしなみ	表情	接客応対	電話応対	報告・連絡・相談	動作、立ち居振舞い	クレーム対応	来客受付	客先訪問	ビジネス文書	名刺交換	席次・席順	携帯電話のマナー	物の受け渡し	eメールのマナー	湯茶サービス	特にない
計		85.6	81.6	72.7	45.8	34.3	33.5	33.1	28.1	25.2	10.6	8.3	6.7	3.7	2.5	2.2	1.9	1.6	0.8	0.1
性別	男性	83.8	82.7	71.6	43.3	33.4	25.5	32.0	30.0	29.8	7.9	12.9	8.8	5.1	3.6	3.2	1.7	1.7	0.5	—
	女性	86.9	80.8	73.5	47.6	35.0	39.2	33.9	26.8	21.9	12.5	5.1	5.2	2.8	1.7	1.5	2.0	1.5	1.0	0.2
年代	10代	89.8	86.9	78.8	60.6	41.6	24.8	21.2	29.2	19.7	11.7	4.4	2.9	—	0.7	1.5	2.2	1.5	0.7	0.7
	20代	85.5	84.0	72.0	50.0	31.8	30.8	34.2	28.9	22.2	10.8	8.5	6.9	4.7	2.5	2.2	1.7	1.5	0.9	0.2
	30代	84.3	79.2	71.7	39.1	36.0	36.6	32.6	26.0	27.5	10.0	10.2	7.9	4.2	2.1	2.6	2.8	2.1	0.9	—
	40代	86.4	71.9	74.9	32.7	37.2	43.2	34.7	28.6	37.2	11.1	8.0	5.5	1.0	4.5	2.0	0.5	2.0	0.5	—
	50代以上	87.0	75.0	75.0	34.8	42.4	44.6	34.8	26.1	34.8	9.8	2.2	5.4	—	2.2	—	2.2	—	—	—

(%)

5 苦手なビジネスマナー

～上位3項目は「言葉づかい」、「電話対応」、「クレーム対応」～

問 ビジネスマナーの中であなたが苦手な項目は次のうちどれになりますか (5つまで選択)

続いてビジネスマナーの項目から苦手な項目を5つまで挙げてもらったところ、「言葉づかい」が最も多く63.9%、次いで「電話対応」51.6%、「クレーム対応」46.9%、「ビジネス文書」37.2%、「接客対応」35.0%、「動作、立ち居振舞い」28.9%という順に続きます。ここでも最も多くの回答を集めたのは、重要なビジネスマナーの項目で第1位の「言葉づかい」という結果になりました。

これを年代別にみると、どの年代でも「言葉づかい」を最も多くの方が挙げていますが、20代(68.1%)、10代(66.4%)の若年層で割合が高くなっており、30代以上は年代が上がるほど割合が低くなっています。重要なビジネスマナーの項目でも、10代は89.8%と約9割の人が「言葉づかい」を挙げており、経験値の少なさからか若年層ほど苦手意識が強いようです。同様に、「電話対応」も10代(59.1%)、20代(56.3%)の若年層で割合が高い結果となっています。一方、「あいさつ」については、50代以上(25.0%)の割合が高くなっているのが特徴的です。

図5 苦手なビジネスマナー (5つまで選択)

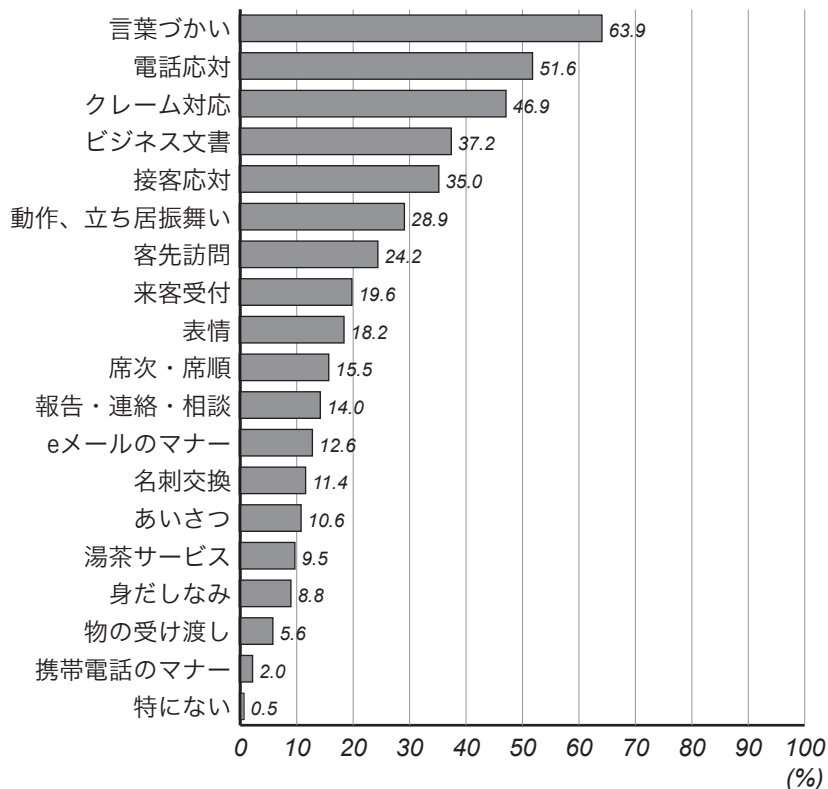


表5 苦手なビジネスマナー（5つまで選択）

		言葉づかい	電話応対	クレーム対応	ビジネス文書	接客応対	動作、立ち居振舞い	客先訪問	来客受付	表情	席次・席順	報告・連絡・相談	eメールのマナー	名刺交換	あいさつ	湯茶サービス	身だしなみ	物の受け渡し	携帯電話のマナー	特にない
	計	63.9	51.6	46.9	37.2	35.0	28.9	24.2	19.6	18.2	15.5	14.0	12.6	11.4	10.6	9.5	8.8	5.6	2.0	0.5
性別	男性	60.5	44.2	42.0	37.3	33.6	28.2	29.4	17.6	23.3	16.4	15.3	12.6	13.3	11.9	8.7	14.5	6.7	2.4	0.5
	女性	66.3	56.7	50.3	37.2	36.0	29.4	20.6	21.0	14.6	14.9	13.1	12.5	10.0	9.7	10.0	4.8	4.8	1.8	0.5
年代	10代	66.4	59.1	46.0	26.3	33.6	34.3	21.9	22.6	23.4	8.8	12.4	9.5	7.3	8.0	4.4	9.5	7.3	1.5	—
	20代	68.1	56.3	47.4	37.9	36.2	28.9	27.1	21.4	18.7	14.7	14.2	12.6	13.0	9.9	8.9	8.6	5.4	1.7	0.3
	30代	58.1	42.5	46.8	38.9	34.0	29.4	21.7	17.4	17.0	20.9	13.4	13.8	10.4	10.6	12.6	10.0	5.1	3.0	0.8
	40代	56.8	42.7	43.7	39.7	33.2	25.6	18.1	13.6	14.6	14.6	14.1	11.6	8.5	10.6	9.0	5.0	9.0	2.0	1.0
	50代以上	52.2	46.7	48.9	30.4	30.4	25.0	16.3	16.3	18.5	7.6	17.4	10.9	6.5	25.0	7.6	10.9	2.2	1.1	1.1

(%)

⑥ 気になる他人のビジネスマナー

～上位3項目は「言葉づかい」、「あいさつ」、「身だしなみ」～

問 他人のビジネスマナーで、あなたが気になる項目は次のうちのどれになりますか。(5つまで選択)

さらにビジネスマナーの項目から、気になる他人のビジネスマナーの項目を5つまで挙げてもらったところ、「言葉づかい（80.4%）」が他の項目を大きく引き離し最も多く、次いで「あいさつ（57.3%）」、「身だしなみ（52.4%）」、「表情（41.6%）」、「電話応対（38.6%）」、「接客応対（38.0%）」という順になりました。これを年代別にみても、「言葉づかい」はどの年代でも最も多くの人が挙げています。

ビジネスマナーとは『相手に感じよいと思っていただくこと』『気配り、心遣いを相手に伝わるように表現すること』です。「4. 重要」、「5. 苦手」、「6. 気になる」とどの回答でもトップに挙がった「言葉づかい」は、ビジネスマナーにおいて非常に大きな役割を担っています。しかし言葉づかいだけではなく、「4. 重要」、「6. 気になる」でどちらにも上位に挙がった「あいさつ」、「身だしなみ」、「表情」などが一体となって、はじめてその意識が伝わるのです。

図6 気になる他人のビジネスマナー (5つまで選択)

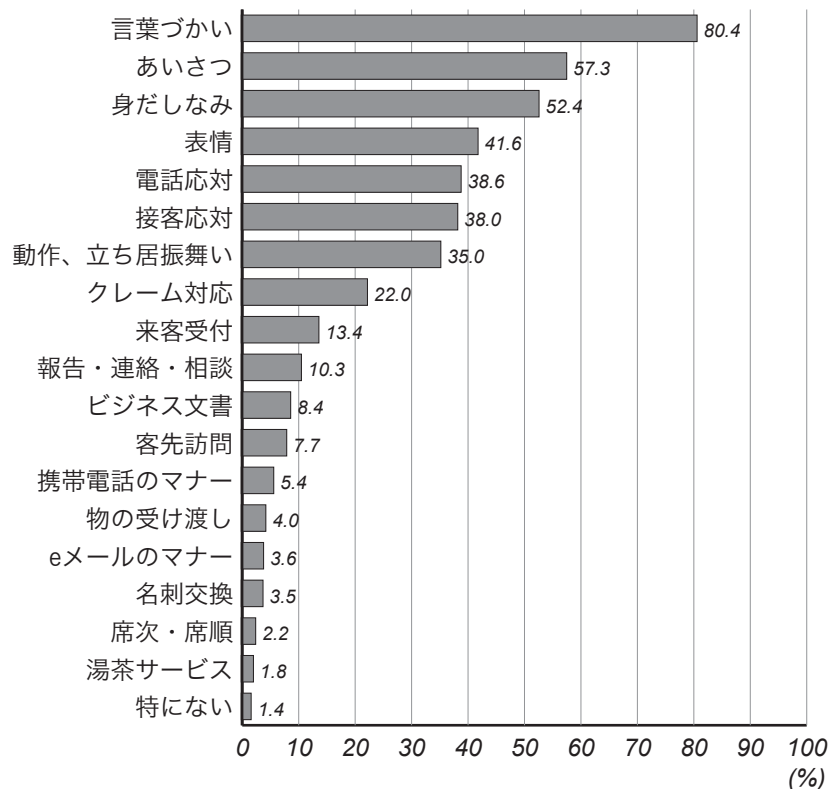


表6 気になる他人のビジネスマナー (5つまで選択)

	言葉づかい	あいさつ	身だしなみ	表情	電話対応	接客対応	動作、立ち居振舞い	クレーム対応	来客受付	報告・連絡・相談	ビジネス文書	客先訪問	携帯電話のマナー	物の受け渡し	eメールのマナー	名刺交換	席次・席順	湯茶サービス	特にない	
計	80.4	57.3	52.4	41.6	38.6	38.0	35.0	22.0	13.4	10.3	8.4	7.7	5.4	4.0	3.6	3.5	2.2	1.8	1.4	
性別	男性	78.2	59.2	50.9	37.0	34.1	38.6	35.6	22.9	12.5	10.9	9.9	10.3	5.1	4.6	3.5	6.0	3.4	0.9	2.0
	女性	82.0	55.9	53.5	44.9	41.7	37.6	34.7	21.3	14.0	10.0	7.3	5.8	5.7	3.7	3.7	1.7	1.4	2.4	1.1
年代	10代	76.6	54.7	52.6	51.1	29.2	42.3	29.2	17.5	10.9	5.8	9.5	6.6	2.9	2.9	4.4	0.7	1.5	4.4	
	20代	79.0	57.9	50.8	44.2	38.7	37.2	36.3	21.6	13.9	9.4	7.8	5.5	4.0	4.1	4.2	2.5	2.3	1.8	
	30代	81.9	58.1	53.6	37.9	37.5	38.3	34.5	23.0	13.4	12.6	8.5	8.1	4.5	5.3	3.8	2.3	2.3	0.9	0.4
	40代	87.4	53.8	58.3	32.2	44.7	35.7	32.2	22.6	13.6	11.6	7.5	5.5	6.5	0.5	1.5	2.0	1.0	1.0	—
	50代以上	82.6	54.3	55.4	33.7	43.5	46.7	35.9	26.1	9.8	14.1	4.3	5.4	6.5	7.6	1.1	2.2	2.2	1.1	1.1

(%)

7 身だしなみへの意識

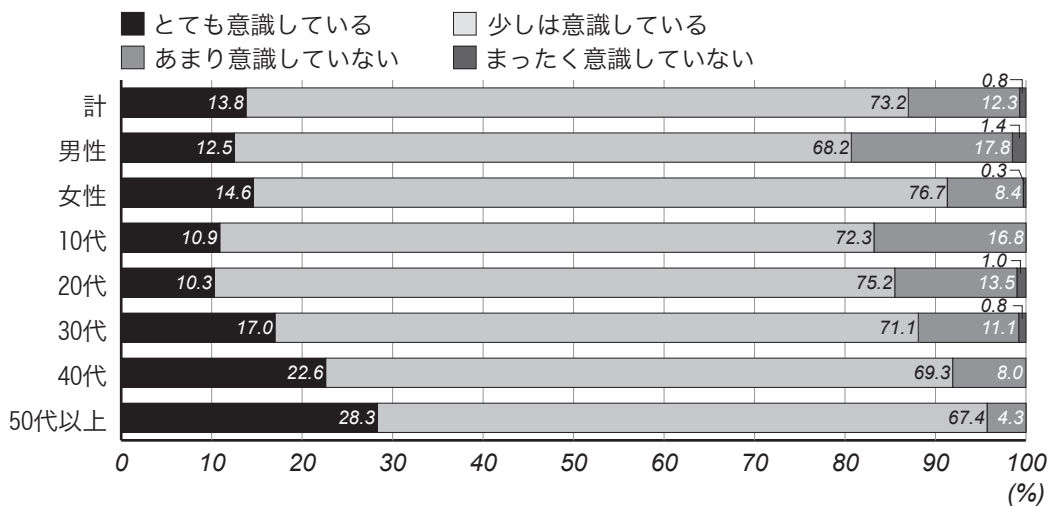
～年代が上がるほど身だしなみを意識している結果に～

問 あなたは日頃から自分の身だしなみを意識していますか。

自分の身だしなみについて日頃から意識しているかと聞いたところ、「とても意識している」13.8%、「少しは意識している」73.2%、「あまり意識していない」12.3%、「まったく意識していない」0.8%という結果になりました。

これを年代別にみると、「とても意識している」と回答した人は10代で10.9%、20代で10.3%、30代で17.0%、40代で22.6%、50代以上で28.3%となり、概ね年代が上がるほど割合が高くなっています。50代以上では、10代、20代と比較すると10ポイント以上割合が高く、社会生活を積み重ねてきた中で身だしなみの大切さを実感しているようです。

図7 身だしなみへの意識



8 意識して気をつけている自分の身だしなみ

～「服のシワの汚れ(61.9%)」、
「服の色柄やバランス(46.5%)」と服装が上位に～

問 あなたが自分の身だしなみで意識して気をつけているのはどのようなところですか。(5つまで選択)

自分の身だしなみで意識して気をつけているのはどのようなところかを聞いたところ、全体では「服のシワや汚れ(61.9%)」が最も多く、少し離れて「服の色柄やバランス(46.5%)」、「髪型や髪の色(43.6%)」、「口臭や体臭(42.2%)」、「爪の長さ(35.0%)」、「ひげ・まゆ・鼻毛(33.2%)」という順になっています。

これを性別にみると、男性は「ひげ・まゆ・鼻毛(60.7%)」と「服のシワや汚れ(59.1%)」が拮抗し、少し離れて「口臭や体臭(42.2%)」、「服の色柄やバランス(42.1%)」、「髪型や髪の色(38.5%)」の順になりました。一方女性では、「服のシワや汚れ(63.9%)」が最も多く、次いで「服の色柄やバランス(49.6%)」、「髪型や髪の色(47.2%)」、「口臭や体臭(42.3%)」、「メイクの濃さ(39.5%)」の順になっています。

身だしなみは、その人の常識や性格を判断する基準となります。身だしなみの中でも、「服のシワや汚れ」と「服の色柄やバランス」が回答の上位を占めたように、常に清潔さを感じさせる服装、TPOをわきまえた服装を心がけることが大事だとの認識を多くの人が持っている結果となりました。

表8 意識して気をつけている自分の身だしなみ(5つまで選択)

	服のシワや汚れ	服の色柄やバランス	髪型や髪の色	口臭や体臭	爪の長さ	ひげ・まゆ・鼻毛	メイクの濃さ	靴の汚れやキズ	香水や整髪料の匂い	頭や肩についたフケ	タバコの臭い	ネクタイの色柄	時計・メガネ・アクセサリ	スカートの長さ、スリットの深さ	ストッキングの色柄	マニキュアの色	その他	特にない	
計	61.9	46.5	43.6	42.2	35.0	33.2	23.4	23.2	18.6	17.7	12.8	12.1	9.6	9.5	8.1	6.2	0.4	1.2	
性別	男性	59.1	42.1	38.5	42.2	31.9	60.7	0.5	25.1	10.1	22.2	18.7	29.2	8.6	0.3	0.8	0.4	0.5	2.0
	女性	63.9	49.6	47.2	42.3	37.2	13.9	39.5	21.9	24.6	14.5	8.7	—	10.3	16.0	13.3	10.2	0.4	0.6
年代	10代	52.6	49.6	47.4	29.9	38.7	35.0	28.5	16.8	23.4	10.2	4.4	6.6	19.7	14.6	10.2	8.0	—	2.9
	20代	60.7	45.1	44.4	40.5	35.9	35.4	21.9	20.6	18.2	15.6	14.3	12.0	10.6	10.7	8.3	7.0	0.5	1.3
	30代	62.1	48.1	42.3	45.3	30.4	34.7	22.3	24.2	15.7	21.9	13.6	15.5	8.1	7.7	7.0	4.5	0.6	0.9
	40代	68.8	50.3	40.2	53.3	37.2	19.6	28.6	34.2	24.6	18.6	8.0	7.0	4.0	5.0	9.5	5.5	0.5	—
	50代以上	76.1	43.5	42.4	43.5	39.1	21.7	31.5	39.1	21.7	31.5	10.9	12.0	1.1	6.5	6.5	2.2	—	—

(%)

9 身だしなみの自己評価

～全体の平均値は61.6点、年代が上がるにつれ自己評価も高くなる～

問 あなたが自分の身だしなみについて点数をつけるとしたら何点（100点満点）になりますか。

自分の身だしなみを自己評価してもらったところ、全体では平均 61.6 点という結果になりました。また、自己評価は 0 点から 100 点まで幅広い点数の回答となりましたが、最も多くつけられた点数（最頻値）は 70 点でした。

年代別に自己評価の平均値をみると、10 代が 53.3 点、20 代が 60.7 点、30 代が 63.9 点、40 代が 64.5 点、50 代以上が 66.2 点と年代が上がるにつれ、平均値も高くなっています。

表9 身だしなみの自己評価

		最大値	最小値	最頻値	平均値
計		100	0	70	61.6
性別	男性	100	0	70	60.4
	女性	99	0	70	62.4
年代	10代	90	0	50	53.3
	20代	100	0	70	60.7
	30代	100	2	70	63.9
	40代	95	20	70	64.5
	50代以上	90	20	70	66.2

(%)

10 気になる異性の身だしなみ

～男性は「メイクの濃さ(54.0%)」、
女性「口臭や体臭(59.7%)」が最も多い～

問 あなたが異性の身だしなみで気になるのはどのようなところですか。(5つまで選択)

異性の身だしなみで気になるのはどのようなところかを聞いたところ、全体では「服のシワや汚れ(49.8%)」と「口臭や体臭(48.4%)」が拮抗し、次いで「香水や整髪料の匂い(43.2%)」、「髪型や髪の色(40.9%)」、「ひげ・まゆ・鼻毛(38.9%)」という順になっています。

これを性別にみると、男性は女性の「メイクの濃さ(54.0%)」を最も多くの方が挙げ、次いで「香水や整髪料の匂い(48.9%)」、「髪型や髪の色(45.7%)」、「服のシワや汚れ(40.8%)」、「服の色柄やバランス(36.3%)」の順になりました。一方、女性は男性の「口臭や体臭(59.7%)」を最も多くの方が挙げ、次いで「服のシワや汚れ(56.2%)」、「ひげ・まゆ・鼻毛(50.7%)」、「頭や肩についたフケ(47.9%)」、「タバコの臭い(46.6%)」の順になっています。

「8. 意識して気をつけている自分の身だしなみ」では、男性は「ひげ・まゆ・鼻毛(60.7%)」、女性は「服のシワや汚れ(63.9%)」が最も上位に挙がりましたが、男性が気になる女性の身だしなみの最上位は「メイクの濃さ(54.0%)」、女性が気になる男性の身だしなみの最上位は「口臭や体臭(59.7%)」となっており、「意識して気をつけている自分の身だしなみ」と「気になる異性の身だしなみ」との相違が明らかになりました。

表10 気になる異性の身だしなみ(5つまで選択)

		服のシワや汚れ	口臭や体臭	香水や整髪料の匂い	髪型や髪の色	ひげ・まゆ・鼻毛	タバコの臭い	頭や肩についたフケ	服の色柄やバランス	メイクの濃さ	靴の汚れやキズ	爪の長さ	ネクタイの色柄	スカート/ソックスの長さ、スリットの深さ	時計・メガネ・アクセサリ	マニキュアの色	ストッキングの色柄	その他	特になし
計		49.8	48.4	43.2	40.9	38.9	36.5	34.8	33.5	26.4	17.5	16.5	10.6	7.4	7.3	7.2	3.3	0.4	1.4
性別	男性	40.8	32.2	48.9	45.7	22.2	22.2	16.1	36.3	54.0	11.5	19.5	3.5	15.3	10.9	14.9	7.1	0.3	2.7
	女性	56.2	59.7	39.3	37.6	50.7	46.6	47.9	31.5	6.9	21.6	14.3	15.6	1.8	4.8	1.8	0.6	0.4	0.5
年代	10代	40.9	52.6	36.5	41.6	51.1	45.3	37.2	38.7	20.4	9.5	10.9	11.7	9.5	6.6	5.8	1.5	—	1.5
	20代	46.5	45.5	42.5	43.6	40.9	37.5	31.4	34.6	28.0	15.9	17.1	10.8	8.2	8.5	7.2	3.5	0.5	1.7
	30代	54.9	50.2	44.9	39.8	34.2	31.7	34.2	33.0	28.3	17.2	15.3	9.4	7.2	5.7	8.9	4.3	0.2	0.9
	40代	58.8	55.8	44.2	30.7	35.7	37.2	48.2	28.6	16.1	28.1	19.6	13.1	2.5	5.0	5.0	0.5	0.5	1.0
	50代以上	60.9	54.3	51.1	32.6	28.3	35.9	52.2	23.9	23.9	29.3	16.3	7.6	5.4	6.5	4.3	3.3	—	1.1

(%)

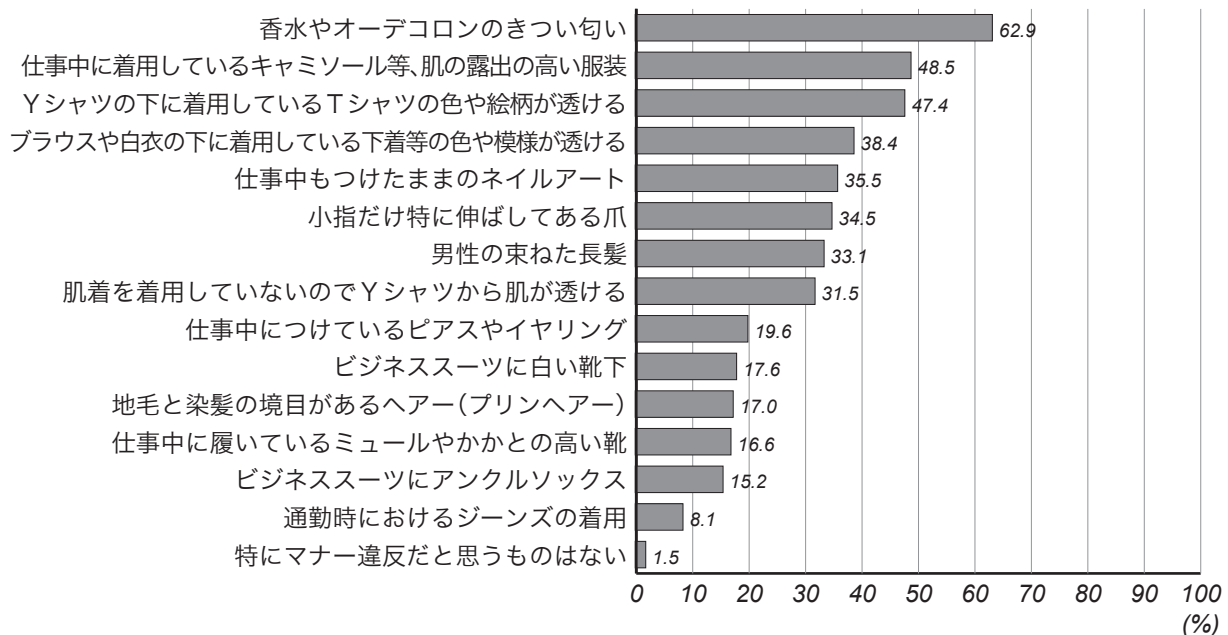
⑩ マナー違反だと思ふ身だしなみ

～「香水やオーデコロンのきつい匂い」が最も多く62.9%～

問 下記の身だしなみ等の事例のうち、あなたがマナー違反だと思ふものはどれになりますか。(5つまで選択)

14の身だしなみ等の事例の中から、マナー違反だと思ふ身だしなみの事例を選択してもらったところ、「香水やオーデコロンのきつい匂い(62.9%)」が最も多く、少し離れて「仕事中に着用しているキャミソール等、肌の露出が高い服装(48.5%)」、「Yシャツの下に着用しているTシャツの色や絵柄が透ける(47.4%)」、「ブラウスや白衣の下に着用している下着等の色や模様が透ける(38.4%)」、「仕事中也つけたままのネイルアート(35.5%)」、「小指だけ特に伸ばしてある爪(34.5%)」、「男性の束ねた長髪(33.1%)」、「肌着を着用していないのでYシャツから肌が透ける(31.5%)」の順で3割を超えています。

図11 マナー違反だと思ふ身だしなみ(5つまで選択)



これを性別に10ポイント以上差が出ている項目をみると、男性の割合が高いのが「仕事につけているピアスやイヤリング(19.0ポイント差)」、「ビジネススーツに白い靴下(16.0ポイント差)」、「Yシャツの下に着用しているTシャツの色や絵柄が透ける(12.7ポイント差)」で、かたや女性の割合が高いのが「仕事中に着用しているキャミソール等、肌の露出の高い服装(35.2ポイント差)」、「ブラウスや白衣の下に着用している下着等の色や模様が透ける(33.7ポイント差)」、「香水やオーデコロンのきつい匂い(12.1ポイント差)」となりました。

さらに、これを年代別に20ポイント以上差が出ている項目をみると、若年層と中高年層で大きな意識の違いが見取れます。中高年層で割合が高いのが「香水やオーデコロンのきつい匂い」で、概ね年代が上がるほどマナー違反との回答が多くなり、50代以上(73.9%)と10代(51.1%)では22.8ポ

イントの差が出ています。また、「Yシャツの下に着用しているTシャツの色や柄が透ける」も同様に、50代以上（58.7%）と10代（38.7%）では20.0ポイントの差が出ています。一方、若年層で割合が高いのが「男性の束ねた長髪」で、年代が下がるほどマナー違反との回答が多くなり、10代（43.8%）と50代以上（16.3%）では27.5ポイントの差が出ています。また、「小指だけ特に伸ばしてある爪」も同様に、10代（40.1%）と50代以上（16.3%）では23.8ポイントの差が出ています。

性別、年代によって、マナー違反と感じる身だしなみに意識の相違が見られる結果となりました。

表11 マナー違反だと思う身だしなみ(5つまで選択)

		香水やオーデコロンのきつい匂い	仕事中に着用しているキャミソール等、肌の露出の高い服装	Yシャツの下に着用しているTシャツの色や絵柄が透ける	ブラウスや白衣の下に着用している下着等の色や模様が透ける	仕事中もつけたままのネイルアート	小指だけ特に伸ばしてある爪	男性の束ねた長髪	肌着を着用していないのでYシャツから肌が透ける	仕事中につけているピアスやイヤリング	ビジネススーツに白い靴下	地毛と染髪の間目があるヘア（プリンヘア）	仕事中に履いているミュールやかかとの高い靴	ビジネススーツにアンクルソックス	通勤時におけるジーンズの着用	特にマナー違反だと思うものはない
計		62.9	48.5	47.4	38.4	35.5	34.5	33.1	31.5	19.6	17.6	17.0	16.6	15.2	8.1	1.5
性別	男性	55.8	27.9	54.8	18.6	34.1	37.3	33.6	30.5	30.7	27.0	17.7	12.2	19.2	11.8	1.8
	女性	67.9	63.1	42.1	52.3	36.5	32.6	32.7	32.3	11.7	11.0	16.6	19.8	12.3	5.4	1.3
年代	10代	51.1	46.7	38.7	40.9	34.3	40.1	43.8	24.1	27.7	8.8	24.8	20.4	8.0	8.0	0.7
	20代	61.6	44.7	43.8	35.2	35.7	37.2	37.2	31.0	21.7	17.7	19.6	16.0	17.0	8.7	1.8
	30代	66.2	50.4	53.2	38.3	36.2	33.2	26.8	32.8	14.7	19.8	12.8	14.2	13.6	7.2	1.1
	40代	65.3	64.3	55.3	51.3	36.2	26.1	24.1	35.7	13.1	17.1	8.5	21.1	13.1	5.5	1.5
	50代以上	73.9	59.8	58.7	51.1	29.3	16.3	16.3	33.7	19.6	18.5	13.0	25.0	14.1	9.8	1.1

(%)